



会員の皆様

第12回「情報システムのあり方と人間活動」研究会開催について

研究会主査 伊藤重隆

今回が、最終研究会となります。第1部は、昨年6月26日に開催された本学会シンポジウムの講演(ソフトウェア工学とシステムデザイン・マネジメント)に共通するキーと考えられる「メタ技術」の教育と学習成果について講演頂き、これを軸に議論をしたいと考えます。第2部は、情報システムを考える上で、重要なシステムのアプローチについて国際的に有名なシステムエンジニアリング国際評議会(INCOSE)が提唱するフレームワークとその動向・実践教育等について概要を講演頂き、日本の現状と比較し議論を進めたいと考えます。

第12回「情報システムのあり方と人間活動」研究会開催ご案内

下記の要領により、第12回研究会を開催しますので奮ってご参加ください。参加希望の方は、主査までご連絡をお願いします。  
(メールアドレス: shigetaka.itou@mizuho-ir.co.jp)

開催日時 平成23年3月12日(土)午後1時30分~5時

場所 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館6階

【場所説明】

日吉駅地上改札を出てキャンパス右に見える大きな建物です。入館後、30m程直進し右手电レベータで6階に降り左へ向かいます。ドア前の内線で38022か38008へ電話し、研究会参加とお伝えください。直後にドアが開錠されます。

第1部 午後1時30分 午後3時10分(内質疑20分程度)

講演題目 「大学・大学院における実践教育で教育・学習するメタ技術」

講演者 法政大学情報科学部コンピュータ科学科

溝口 徹夫 教授

- 10分 休憩 -

第2部 午後3時20分 午後4時20分(質疑30分程度)

講演題目 「INCOSEが主導するシステムエンジニアリングの  
フレームワーク概要とSDMでの実践教育」

講演者 慶應義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント(SDM)研究科

嶋津 恵子 准教授

研究会終了ご挨拶 主査・幹事

以上